

[仕入データ.csv]
ファイルにデータを書き込む

1 VBEを起動し、コードを入力

参照 1 VBAを起動してマクロを作成するには……P.93

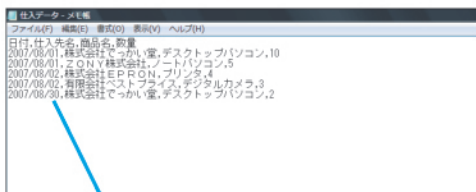
```

((General) CSVファイル書き込み
Sub CSVファイル書き込み()
    Dim myFSO As New FileSystemObject
    Dim myTextFile As TextStream
    Dim myStockData(3) As String
    Dim i As Integer
    Set myTextFile = myFSO.OpenTextFile
        ("C:\データ\仕入データ.csv", ForWriting)
    Worksheets("仕入データ").Activate
    i = 2
    Do Until Cells(i, 1).Value = ""
        myStockData(0) = Cells(i, 1).Value
        myStockData(1) = Cells(i, 2).Value
        myStockData(2) = Cells(i, 3).Value
        myStockData(3) = Cells(i, 4).Value
        myTextFile.WriteLine Text:=Join(myStockData, ",")
        i = i + 1
    Loop
    myTextFile.Close
End Sub

```

2 入力したマクロを実行

参照 1 マクロを実行するには……P.54



データが書き込まれた



テキストファイルに文字列だけ を書き込むには

テキストファイルに文字列だけを書き込むには、TextStreamオブジェクトのWriteメソッドを使用します。Writeメソッドは、引数Textに指定された文字列をテキストファイルに書き込みます。改行文字は書き込みません。書き込み位置は、書き込んだ文字数分だけ移動します。



テキストファイルに改行文字 だけを書き込むには

テキストファイルに改行文字だけを書き込むには、TextStreamオブジェクトのWriteBlankLinesメソッドを使用します。WriteBlankLinesメソッドは、引数Linesに指定された数だけ改行文字をテキストファイルに書き込みます。構文は「TextStreamオブジェクト、WriteBlankLines(改行文字の数)」の形です。書き込み位置は、書き込んだ改行文字分だけ移動します。また、WriteLineメソッドの引数Textを省略して改行文字だけを書き込むこともできます。

Filesコレクションのプロパティ

プロパティ	内容
Countプロパティ	ファイルの数を取得する
Itemプロパティ	ファイルを取得する

- 1 マクロの基礎知識
 - 2 VBAの基礎知識
 - 3 プログラミングの基礎知識
 - 4 セルの操作
 - 5 ワークシートの操作
 - 6 Excelファイルの操作
 - 7 高度なファイルの操作
 - 8 ウィンドウの操作
 - 9 リストのデータ操作
 - 10 印刷
 - 11 図形の操作
 - 12 グラフの操作
 - 13 コントロールの使用
 - 14 外部アプリケーションの操作
 - 15 VBA関数
 - 16 そのほかの操作
- 付 録